

発達障害の子どもに対する 受容、見守り、支援のあり方を考える

公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター先端生命医科学研究所では、先端医学に関する知見を市民の方々と共有することの重要性を深く認識しています。特に母子の健康に関する様々な問題について認識を深め、共に考える機会を持たせて頂くことは日本の将来を決定付ける重要な意味を持っています。そのような認識のもと、2008年より神戸、東京にて市民公開講座「赤ちゃんから社会へのメッセージ」を開催して参りました。

昨年度の第11回公開講座において「発達障害の子どもに対する受容、見守り、支援のあり方を考える」と題する講演会をweb視聴形式で開催させていただきました。

本年度においても同様に子どもの心や発達の問題について滝川一廣先生（あなはクリニック、前学習院大学）、石崎朝世先生（王子クリニック）、小枝達也先生（国立成育医療研究センター）の3人のスペシャリストの先生方にそれぞれの角度からご講演をお願いすることになっています。

未だコロナ禍にあることを鑑み、本講演会は事前登録型のweb視聴形式で開催します。また一部講演はオンデマンドでも視聴可能です。

できるだけ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター先端生命医科学研究所長・
東京医科歯科大学名誉教授 水谷 修紀

ZOOMウェビナー

3/29 水

2023.

14:00~17:00

参加費無料

（通信費用は参加者負担）

Program

14:00~14:05 開会のご挨拶

司会:水谷 修紀

14:05~15:05 講演1

精神発達からみた発達障害

滝川 一廣 先生（あなはクリニック）

15:05~15:45 講演2

長期経過からみた、小児期の発達障害への適切な対応

石崎 朝世 先生（公益社団法人 発達協会 王子クリニック）

15:45~16:25 講演3

新しい技術の導入による自閉スペクトラム症幼児に対する早期支援

小枝 達也 先生（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター こころの診療部）

16:25~16:35 休憩

16:35~17:00 質疑応答

お申込み
[事前登録制]

WEB(https://phrf-jp.zoom.us/webinar/register/WN_ZIMiGLDFRUGIKx1RL2XPZQ)
よりお申込み下さい。[お申込み期間：2月20日(月)~3月28日(火)]



一部オンデマンドでも視聴できます。[4月10日(月)~]

コチラのサイトにアクセスしてください。<https://phrf.jp/sentan/education/>





たきかわ かずひろ
滝川 一廣

あなはクリニック副院長

愛知県名古屋市生まれ。1975年名古屋市立大学医学部卒業。

人間学的精神病理学の立場を取り、統合失調症や自閉症などの精神障害を、異常性と捉えず、人間が本来持っている心の働きの一側面が突出して現れた姿であると捉える。

1975年名古屋市立大学医学部精神医学教室入局、1978年岐阜精神病院医長、1981年名古屋市立大学医学部精神医学教室助手、1984年名古屋市児童福祉センター医務係長、1986年名古屋市児童福祉センターくすのき学園長、1995年青木病院医員、1999年愛知教育大学教育学部障害児教育講座助教授、2002年愛知教育大学教育学部障害児教育講座教授、2003年大正大学人間科学部人間福祉学科臨床心理学専攻教授、2009年学習院大学文学部心理学科教授、2018年学習院大学文学部心理学科教授を定年退任。

著書

家庭のなかの子ども 学校のなかの子ども（岩波書店）、不登校を解く（共著 ミネルヴァ書房）、学校へ行く意味・休む意味（日本図書センター）、〈こころ〉の定点観測（共著 岩波書店）、「こころ」はどこで壊れるか（共著 洋泉社）、「こころ」はだれが壊すのか（共著 洋泉社）、「こころ」の本質とは何か（筑摩書房）、新しい思春期像と精神療法（金剛出版）、子どものための精神医学（医学書院）



いしざき あきよ
石崎 朝世

公益社団法人 発達協会 王子クリニック院長

（東京医科歯科大学小児科臨床教授、公益社団法人 発達協会理事、医療部部長）

1975年、東京医科歯科大学医学部卒業。

東京医科歯科大学医学部小児科、日赤医療センター小児科、東京女子医大小児科、重症心身障害児者施設の都立府中療育センターを経て、1992年より現職。

資格：医学博士、小児科専門医、小児神経専門医、子どものこころ専門医

主な所属学会：日本小児科学会、日本小児神経学会、日本てんかん学会、日本精神神経学会、日本神経学会

現職と並行して、東京都府中市にある身体障害と知的障害、中途障害を有する方達が働く作業所、障害者生活支援センター、グループホームなどを運営する社会福祉法人あけぼの福祉会理事長も兼任している。

また、都立王子特別支援学校精神科校医、旭出学園（私立特別支援学校）・旭出生産福祉園校医、東京都北区学校精神科医、東京都北区児童発達支援センター嘱託医、東京都北区重度知的障害および重度身体障害各通所施設嘱託医などを行い、地域の障害児者医療にも携わっている。それに北区の保育園園医もしている。

発達障害とその心配がある子どもたち青年たちが、いきいきと育ち生活できるように応援する臨床医でありたいと願っている。

著書

発達障害いきいきサポート～子どもから大人まで、支援のために知ってほしいこと（クリニック30年の実践で得たことを皆で執筆2022年3月、富山房インターナショナル）、落ち着きのない子どもたち・友達のできにくい子どもたち（いずれも鈴木出版）、発達障害ははじめの一步（少年写真新聞社）、よくわかる発達障害（分担執筆、ミネルヴァ書房）など。



こえた たつや
小枝 達也

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター こころの診療部

1984年鳥取大学医学部卒業 鳥取大学医学部附属病院医員、1993年オランダ政府奨学生としてフライ大学小児科へ留学、1996年鳥取大学医学部脳神経小児科助教授、1998年鳥取大学教育学部学校教育障害児病理学教授、2004年鳥取大学地域学部地域教育学科教授（改組に伴う名称変更）、2009年 鳥取大学附属小学校校長 併任（2012年度まで）、2014年 鳥取大学地域学部附属子どもの発達・学習研究センターセンター長併任、2015年国立研究開発法人国立成育医療研究センターこころの診療部長 鳥取大学名誉教授、2017年国立研究開発法人国立成育医療研究センター副院長併任

